



4 9月15日から21日は老人週間

5 10月は環境月間

16 日野市民スポーツレクリエーション
フェスティバル

別冊
特集 健康読本 ひのいき

平成30年(2018年)

9月15日号

第1431号



日野市洪水ハザードマップ Hino City Flood Hazard Map

この地図は、国土交通省が平成28年5月30日に公表した多摩川水系(多摩川・浅川)の浸水想定区域図を基に作成し、これらの川が氾濫した場合に想定される浸水範囲、浸水の深さ、安全に避難する方向、避難所などを示した図です。

この洪水ハザードマップでは、浸水想定区域が大きく拡大しました。日野市では今までより約168ヘクタール拡大し、市面積の約四分の一にもなります。また、以前から浸水が想定されていた区域でも深さの表記が変わっていますので、ご確認ください。

- 浸水想定区域の想定条件
多摩川水系の流域に、2日(想定し得る最大規模)
- ご覧になる際の注意
実際の浸水区域や水深はご確認をお願いします。

日野市 土砂災害ハザードマップ Hino City
平成30年度版

土砂災害に備えて

平成30年3月に東京都は土砂災害防止法に基づき日野市内の土砂災害警戒区域465箇所、うち特別警戒区域388箇所を指定しました。土砂災害ハザードマップは、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域と土砂災害時の避難所等について地図上に示したものです。区域の表示に詳細な地図が必要のため、地域ごとに8種類のハザードマップを作成しました。(土砂災害警戒区域等がない地域は作成していません。)土砂災害は、突発的に発生することが多く、発生場所や時刻を正確に予測することが難しい災害です。いざというときに備えて、この土砂災害ハザードマップをご活用いただき、あらかじめ危険な場所を確認するとともに避難場所や避難の方法を考えておきましょう。

避難情報と取るべき行動

日野市では、国土交通省や気象庁が観測する多摩川、浅川の水位や雨量により情報収集を行い、災害の発生するおそれが高まったと判断されたら必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。また、これらの情報が発令確認、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

避難情報では、状況により避難が必要な区域や開設した避難所等をお知らせします。

種類	発令時の状況
避難準備	■高齢者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならぬ段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。
高齢者等避難開始	■通常の避難行動ができる者が避難行動を開始し、高齢者等に避難行動を開始する可能性が高まった状況。
避難勧告	■通常の避難行動が困難となる状況の発生や切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。
避難指示(緊急)	■通常の避難行動が困難な状況の発生や切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域 (黄色・イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊、土石流等が発生した場合に、皆さんの生命又は身体に危険が生ずるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害特別警戒区域 (赤色・レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合、建築物の崩壊が生じ、皆さんの生命又は身体に重大な危険が生ずるおそれがあると認められる区域です。建築物の構造に規制が設けられ、特定の地区に許可が必要となる場合があります。

避難情報の伝達方法と経路

国土交通省・気象庁・東京都

日野市

避難所

避難所

避難所

土砂災害の種類と危険現象

急傾斜地の崩壊 (谷はけ)

土石流

地すべり

正確な情報で
災害から身を守る